

昭島市社会福祉協議会だより



第197号
平成28年 5月15日号

発行

社会福祉法人
昭島市社会福祉協議会
〒196-0015
昭島市昭和町 4-7-1
昭島市保健福祉センター 2階
TEL.042-544-0388(代)
FAX.042-543-0003

ホームページ <http://www.acsw.jp>

昭島市社会福祉協議会は市民の参加と協力によって運営されている、福祉を進める民間の団体です。

社会福祉協議会の様々な取り組み

団塊の世代が75歳以上高齢者となる平成37年(2025年)には、市内の65歳以上の高齢者人口は、およそ3万人と予想されています。こうした社会に対応するため、地域福祉権利擁護・成年後見支援事業や認知症サポーター養成講座を実施し、地域で支えあう仕組みをつくりま



「あいぼっく」で開催した認知症サポーター養成講座

現在、市内では61のサロンが開設されています。どなたでもお気軽にお越しください。この旗が目印です。



昭島ふれあいほっとサロン

災害が発生すると全国から多くのボランティアが応援に来てくれます。昭島市では、市内に大きな災害が発生した時には、社会福祉協議会が「災害ボランティアセンター」を、東町にある総合スポーツセンターに開設することになっています。



市内の中・高校生がスタッフとして参加した災害ボランティアセンターの立上げ訓練(昭島市総合防災訓練にて)

赤い羽根や歳末たすけあい運動で集められた共同募金は、そのほとんどが昭島市の社会福祉事業に役立てられています。ご協力をお願いします。



昭島駅前での赤い羽根共同募金

3月に開催された理事会、評議員会において、平成28年度の社会福祉協議会の予算が決まりました。社会福祉協議会は、昨年度から昭島市地域福祉活動計画「あきしま支えあいプラン」に基づき事業を実施しています。計画の基本理念である「ともに支えあうまちづくり」の実現のため、地域に根付いてきたサロン活動などを通して、様々な福祉課題を、そこに住む方々自身が解決していく地域福祉の推進を、皆様とともに進めてまいります。

平成28年度の事業計画が決まりました。

平成28年度の重点事項

1.地域福祉活動計画の着実な推進

社会福祉協議会の活動計画「あきしま支えあいプラン」を市民の皆様と一緒に推進し、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

2.サロン活動の支援と小地域福祉活動の推進

現在、市内では61のサロンが開催されています。歩いて行ける距離で、誰もが身近にサロンが利用できるよう、新たなサロンの開設を支援します。

また、サロン活動で培われた地域のつながりを生かして、地域ぐるみで生活課題に取り組む「小地域福祉活動」を推進します。

3.地域福祉権利擁護、成年後見支援事業の実施

地域福祉権利擁護、成年後見支援事業とは、認知症や障害により判断能力が低下した方々が、地域において自立した生活を送れるよう、福祉サービスの利用援助や日常金銭管理、成年後見制度の利用支援を社会福祉協議会がお手伝いするサービスです。

高齢化の進行などにより、今後、事業の必要性が益々増してくるものと思われます。引き続き、専門的な相談や福祉サービスの利用支援などを地域のネットワークを活用しながら総合的に実施します。

4.あきしま福祉作業所の運営

あきしま福祉作業所は、一般の企業では就労が困難な障害のある方に対して、自立した日常生活や社会生活が営めるよう、就労の機会を提供し、生産活動や日常の活動を通して知識や能力の向上に必要な支援を行う事業所です。利用者の方の声を聞きながら、安定した効率的な運営を図ります。

5.財源の確保

会費や寄付金は社会福祉協議会の事業を推進するうえで大変貴重な財源です。広報やガイドブックなどを活用して、皆様に社会福祉協議会の日頃の活動を知っていただき、事業にご賛同いただけるよう努めます。

広報「ふれあい」を見やすく、読みやすく

社会福祉協議会の広報誌「ふれあい」は、皆様と社協をつなぐ大切な情報誌です。この度、より読みやすく、分かりやすい紙面づくりを目指してタブロイド版に紙面を拡大しました。これからも、皆様にとって有用な情報をお伝えするとともに、日頃の福祉活動について、広く広報し、地域福祉の輪を広げていきたいと考えています。今後とも支援をよろしくお願いいたします。

目次

- 1面 平成28年度事業計画
- 2面 こどもまつり・ファミリーサポートセンター・くじらほっとサービス
- 3面 ご案内・ほっとサロンニュース
- 4面 ボランティア情報「ありがとう」